

ふるさと探訪

第41回 福岡八幡神社



丹原町今井にある福岡八幡神社は、道前平野にぽつりとある標高60メートルの小高い



▲急な階段を上ると風格のある社殿が見える

◀県指定の文化財「中細形銅剣」



丘であるおしぶの森の山頂にあります。本殿へ上る187段の急な石段の両側には、多種多様な樹木が茂っており、かつては亜熱帯の北限かつ亜寒帯の植物が混生しているということで国の天然記念物にも指定されていました。

古くは源頼朝が神領と認めたこの神社も、豊臣秀吉の四国征伐で焼失、江戸時代に松山藩主となった加藤嘉明は、松山藩の東の守り神として再建し現在まで引き継がれています。

神社には県指定の文化財である「中細形銅剣」があります。この銅剣は、願連寺の泉

から発見された弥生時代中期から後期のもので、大陸の青銅器文化の伝来を物語るものです。県内各地で発見されている平形銅剣よりも古く、現在見つかっている青銅器遺品のうちでは最古のものと思われる、完全な形で出土したものである。県内唯一です。

毎年、10月16日の秋祭りには、午前8時頃氏子町内のだんじりなど数台が集まり、宮出しが賑やかに行われます。

■住所 丹原町今井5

■駐車場 あり

